

JFA 第 49 回全日本 U-12 サッカー選手権大会茨城県大会実施要項

(趣旨)

日本の将来を担う子供たちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指し、その研修の場として本大会を開催する。将来に向けて大きく成長するための準備として、この年代にふさわしいゲーム環境を提供することにより、育成年代で年代に応じた豊かな経験を積み重ねる中で自ら成長していくことのできるようサポートする。子供たちや周囲の大人が、サッカー、スポーツのすばらしさに触れ、生涯にわたって楽しみ、かかわっていきけるよう、文化として醸成していくことを目指す。

1. 主 催：公益財団法人 日本サッカー協会
公益財団法人 日本スポーツ協会 日本スポーツ少年団
読売新聞社、公益財団法人 茨城県サッカー協会
2. 主 管：公益財団法人 茨城県サッカー協会 第 4 種委員会
3. 後 援：日本テレビ放送網／報知新聞社
4. 協 賛：U-12 トップパートナー
YKK／花王／日清オイリオグループ／ゼビオ／日本マクドナルド

開催協力：モルテン

5. 地区大会：日程並びに大会形式は各地区にて決定すること。

6. 大会日程

第 1 日目：11 月 2 日（日）1 回戦・2 回戦	県内 16 会場（県西地区 4 他 3）
第 2 日目：11 月 9 日（日）ベスト 16・準々決勝	県西地区 4 会場
第 3 日目：11 月 23 日（日）準決勝・決勝・	龍ヶ崎市 たつのこフィールド

7. 参加資格

①2025 年度日本サッカー協会第 4 種に登録（団体・選手共）済みで地区大会において本大会の出場資格を得た 48 チーム。

県東：7 県西：9 中央：12 県南：14 県北：6

i リーグにて出場権を得た 16 チーム

②エントリー選手は 20 名以内。但し、6 年生のみで 20 名を超えるとき登録は認める。

③地区大会から県大会に至るまで同一参加選手が異なる「加盟チーム」または「準加盟チーム」への移籍後、再びこの大会に参加することはできない。

エントリー票については地区大会にて提出したものとし選手の追加登録、変更は認めない

④有資格審判員(高校生以上)を 1 名、JFA 公認指導者ライセンス（D 級コーチライセンス以上）保有者を 1 名帯同すること。またクラブウェルフェアオフィサー講習を受けたものがチーム内に 1 名以上有すること。

⑤スポーツ傷害保険に加入済みであること。

⑥参加選手は健康であり、保護者の同意を得ること。

⑦当日引率指導者はチームを掌握する責任ある指導者であること。また、ベンチ入りするチーム指導者、スタッフの内 1 名以上が JFA 公認指導者ライセンス（D 級コーチライセンス以上）を有し常時ベンチ入りできること。またベンチ入りする指導者、スタッフは JFA 公認指導者ライセンスもしくは有資格審判員を保有すること。

8. 大会形式

- ①試合は全てトーナメント方式とする。
- ②既定の試合時間内に勝敗が決しない場合

- ・第1日目から第3日目の準決勝においては、延長戦は行わず、PK(ペナルティシュートアウト)方式により次回戦進出チームを決定する。
- ・第3日目決勝戦においては、10分間(前後半5分)の延長戦を行い、延長戦でも決しない時はPK(ペナルティシュートアウト)方式により順位を決定する。

9. 競技規則

本大会は、公益財団法人日本サッカー協会「サッカー競技規則 2004/25」及び「8人制サッカー競技規則」により実施し、本大会要項に基づき運営される。

10. 競技規程：以下の項目については本大会の規程を定める。

- ① フィールドの大きさ
 - ・68m×50mを基本とする。
 - ・ペナルティーエリア=12m
 - ・ペナルティーマーク=8m
 - ・ペナルティーアーク=半径7m
 - ・センターサークル=半径7m
 - ・ゴールエリア=4m
 - ・ゴールの大き=少年用(W5m×H2.15m)
 - ・交代ゾーン(ベンチ側)=ハーフウェーラインから左右3m
- ② 試合球は公認4号球とする。
第1日目は各チーム持ち寄りとし、第2日目以降の試合球は、アディダス社製「ADF400 コネクト 25 キッズ」を本部が準備する。
- ③ 試合時間は40分(前後半各20分)
 - ・ハーフタイムのインターバル(前半終了から後半開始まで)：原則5分間
 - ・延長戦に入る前のインターバル：原則5分間
 - ・PK(ペナルティシュートアウト)方式に入る前のインターバル：原則1分間とする。
- ④ 審判員：1人の主審と1人の補助審判員とする。
- ⑤ メンバー表：各試合開始30分前までに本部へ1日目、2日目は**1部**提出
3日目については**2部**提出する。
 - ・メンバー表にはベンチ入りするJFA公認指導者D級以上のコーチライセンス保有者の名前とライセンスNo.を記載し提出する。
- ⑥ 競技者の数：8名(試合開始時に8名に満たない場合は試合を行わず、得点0対3とし敗戦したものとみなす。試合途中で怪我等による人数不足により8名に満たなくなった場合には、そのまま続行する。ただし6名以下になった場合には試合を中断し、満たなくなったチームの0-3の敗戦とする。尚、中断時点で3点差以上のスコアの場合は、その結果を反映する。
- ⑦ 交代できる競技者数：12名とし、交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。交代の回数は制限されない。
(交代要員は代表者ミーティングにて決定した色のビブスを着用すること。)
- ⑧ 競技者が交代要員と交代する場合、次のとおり行う。
 - ・交代が行われることについて、事前に審判員に通知する必要はない。
 - ・交代して退く競技者は交代ゾーンからフィールドの外に出る。
 - ・交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
 - ・交代は、ボールがインプレー中またはアウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。但し、交代で退く競技者が負傷している場合は主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。
 - ・ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合停止中に入替わることができる。
- ⑨ ベンチに入ることの出来る人数：交代要員12人以内、指導者、チーム役員は2名以上3名以下(これに反した場合には、チーム役員に対し、注意喚起を行う。)なお、指導者、チーム役員3人のうち1人以上がJFA公認指導者ライセンス(D級コーチライセンス以上)を有する事。またベンチ入りする指導者、チーム役員はJFA公認指導者ライセンスもしくは有資格審判員を保有する者とする。
また6年生のみで20名以上いる場合のみ登録外の選手についても交代選手と異色の上

着を着用することでベンチ入りすることができる。

- ⑩ 負傷した競技者の負傷程度を確かめるために入場できる人数：主審の指示により最大2名以内とする。
- ⑪ ゲーム中にベンチより戦術的指示、指導、アドバイスを行えるのは JFA 公認指導ライセンス保有者のみとする。また複数による同時に指導は行えません。
- ⑫ テクニカルエリアを設置する。

11. 懲 罰

- (1) 主審より退場を命じられた選手及び退席を命じられた役員は、自動的に本大会次回戦の試合1試合の出場停止処分を受ける。追加的処分については（公財）日本サッカー協会懲罰基準に準拠して（公財）茨城県サッカー協会第4種委員会内規律・フェアプレー部で協議し、（公財）茨城県サッカー協会規律・フェアプレー委員会が決定する。
- (2) 本大会期間中に（公財）茨城県サッカー協会規律・フェアプレー委員会において出場停止処分の罰則が決定されながら、本大会の終了によって残存した出場停止処分については、当該競技会（全国大会を含む）で適用される。
- (3) 本大会で累積された警告が2回となった場合、自動的に本大会の次の試合1試合の出場停止処分を受ける。警告の累積による出場停止を繰り返した場合、2回目以降も1試合の出場停止処分とする。ただし、違反行為の内容によっては、追加的処분을（公財）茨城県サッカー協会第4種委員会内規律・フェアプレー部で協議し、（公財）茨城県サッカー協会規律・フェアプレー委員会において決定する。
- (4) 同一試合で2回警告による退場を命じられた選手は、自動的に本大会次回戦の試合1試合の出場停止処分を受ける。ただし、試合出場停止により処分されたものとし2回の警告は累積されない。
- (5) 累積された警告での出場停止処分及び警告の累積は、本大会終了時をもって効力を失う。
- (6) 出場資格がない選手が本大会の試合に出場した場合、それが判明した時点で没収試合とし、当該チームの0-3の敗戦として試合を打ち切る。この該当チームの懲罰については（公財）茨城県サッカー協会第4種委員会内規律・フェアプレー部及び（公財）茨城県サッカー協会規律・フェアプレー委員会にて協議の上決定する。
- (7) メンバー表と選手証（Web から出力された選手証チーム一覧でも可）が規定時間までに提示ができないチームに関しては、それが判明した時点で参加資格がないチームとみなし0-3の不戦敗とする。この該当チームの懲罰については（公財）茨城県サッカー協会第4種委員会内規律・フェアプレー部及び（公財）茨城県サッカー協会規律・フェアプレー委員会にて協議の上決定する。
- (8) 指導者ライセンス保持者（D級以上）1名、有資格審判員1名が帯同出来ないチームに関しては、それが判明した時点で参加資格のないチームとみなし、当該チームの不戦敗とする。この該当チームの懲罰については（公財）茨城県サッカー協会第4種委員会内規律・フェアプレー部及び（公財）茨城県サッカー協会規律・フェアプレー委員会にて協議の上決定する。
- (9) 本要項内に規定されたユニフォームを準備できなかった時点で参加資格のないチームとみなし、当該チームの0-3不戦敗とする。この該当チームの懲罰については（公財）茨城県サッカー協会第4種委員会内規律・フェアプレー部及び（公財）茨城県サッカー協会規律・フェアプレー委員会にて協議の上決定する。
- (10) ピッチ内外での不適切な言動や重大な違反行為及び本実施要項に記載のない違反行為に関する懲罰事項は、事実確認のヒアリングを実施の上（公財）日本サッカー協会懲罰規程に基づき（公財）茨城県サッカー協会第4種委員会内規律・フェアプレー部で協議し、（公財）茨城県サッカー協会規律・フェアプレー委員会が決定する。

12. ユニフォーム

- ① アンダーシャツの着用は、ユニフォームの袖の主たる色と同色を基本とするが、チーム内で（ゴールキーパーも含めて）同色のアンダーシャツであれば、ユニフォームと異色であっても着用を認める。
アンダーショーツも同様の考え方とする。尚、チーム内に、着用している競技者と着用し

ていない競技者がいても構わない。

- ②アンダーシャツを着用する場合、丸首・Vネック等の形状は特に規定されているものではないため、形状が異なるアンダーシャツを着用している競技者が混在しても構わない。いずれもチーム内（ゴールキーパーも含めて）同色のものであればよい。
- ③アンダーシャツの販売メーカーが異なる場合でも着用を認める。いずれもチーム内で（ゴールキーパーも含めて）同色のものであればよい。
またアンダーシャツが相手チームのユニフォームの色彩と類似している場合、別の色のアンダーシャツに変更することが望ましいが、その対応が難しい場合、相手チーム、審判が同意のもと、色彩が類似しているアンダーシャツの着用を認める。
- ④メンバー表に記載されているゴールキーパーがフィールドプレーヤーとして試合に出場する場合、メンバー表に記載されている番号を付けたフィールドプレーヤーのユニフォームを着用すること。
- ⑤フィールドプレーヤーがゴールキーパーとして試合に出場する場合、
 - I フィールドプレーヤーはメンバー表に記載されている番号と同じ番号の副ユニフォームの着用を認める。その際の着衣は上衣のみで良い。
 - II 相手チームのユニフォームと色彩が類似する可能性がある為、試合前のマッチミーティングにおいて、予め打ち合わせをしておく事。
 - III 副ユニフォームも相手チームと調整が出来ないときは、ゴールキーパーが着用していたユニフォームもしくは同色の上衣のみフィールドプレーヤーが着用することを認める。
 - IV 前述の対応がすべて困難な場合のみ、最終的な手段としてビブスの着用を考慮する
- ⑥ゴールキーパーのユニフォームについて、当日にゴールキーパーが欠場する場合であっても必ずゴールキーパーのユニフォームは試合会場へ持参すること。また、ゴールキーパーは試合開始時には必ずゴールキーパーのユニフォーム（シャツ、ショーツ、ソックス）を着用すること。
- ⑦ユニフォーム（シャツ・ショーツ・ソックス）は、正のほかに副として正と色彩の異なり判別しやすいユニフォームを用意し、各試合に必ず携行すること。
- ⑧ユニフォームの決定は主審が両チーム立会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。また、主審は両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ、ソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
- ⑨ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合はソックスと同色でなくても良い。

- ⑩シャツの前面・背面にはメンバー表に登録した選手番号をつけること。ショーツの選手番号については付けることが望ましい。
- ⑪「ユニフォームには番号が明確に表示されていなければならない」
よって、競技者が着用するユニフォームの番号を張り番するとき、複数名が張り番号の場合は、チーム内統一でユニフォームと同じ色の生地と同様の書体の番号を張り付け、生地の4辺から手指等が入らないように安全に縫い付けられたものとする。尚、張り番号が1名の場合は、生地の4辺が安全に縫い付けられていれば、生地の色や書体は問わない。
- ⑫フィールド上にアームバンド（キャプテンマーク）を着用したキャプテンがいることを必須としない。キャプテンは試合中にアームバンド（キャプテンマーク）を着用しても、着用しなくてもよい。
- ⑬ユニフォームの色はエントリー用紙提出後以降の変更は認めない。
- ⑭その他の事項については（公財）日本サッカー協会「ユニフォーム規定」に従うものとする。

13. 参加申込

- ・地区大会参加時に大会参加費として5,000円を下記口座に振り込み済みであること
エントリー用紙提出時に必ず参加費の振り込みが完了していること。その時点で確認できなかった場合は、大会参加を認められないものとする。

振込先：常陽銀行 泉町（いずみちょう）支店 普通 1570163

公益財団法人茨城県サッカー協会 会長 大和田健

ザイ) イバラケンサッカーキョウカイ カイショウ オオワダケン

その際に依頼人、地区名、チーム名を記載すること。

(記入例) {地区名については西ニ、東ヒ、北キ、南ミ、中央チ、となります。}

イワトトシル ニ(地区名) コガアズーSCのように記載します。

エントリー用紙と同時に振り込み確認書を添付のこと。(コピー可)

・「エントリー用紙」4部および「個人情報及び肖像権利用に関する同意書」1部は地区大会抽選会時に地区事務局へ提出する。

・各地区本大会出場チームのエントリー用紙2部については、地区事務局が取り纏めのうえ本大会抽選会時に大会事務局へ提出する。

14. 監督者会議

期 日：2025年10月26日(日曜日) 16:00~

会 場：JAグループ教育センター大会議室

抽選について：監督者会議と同時に各チーム代表による抽選とします。

*参加チームは必ず1名出席願います。

15. 表 彰

読売新聞社様による次の表彰を行う

優勝トロフィー及び表彰状

(公財) 茨城県サッカー協会による次の表彰を行う。

- ・優 勝：表彰状、トロフィー、記念メダル
- ・準優勝：表彰状、トロフィー、記念メダル
- ・第3位：表彰状、トロフィー、記念メダル
- ・第4位：表彰状、盾、
- ・優秀選手賞(11名)：表彰状、記念品

協賛社表彰 努力賞トロフィー贈呈、副賞の贈呈

16. そ の 他

- ① チームはエントリー選手の選手証(写真貼付されたもの)を試合会場に持参すること。
不携帯の選手は当該試合への出場を認めない。(web my ページから出力された選手証(写真貼付されたもの) チーム一覧表でも認める。)
- ② 第1試合競技開始時間の50分前に代表者ミーティングを開催する。代表者ミーティングにおいては、選手証の提出、帯同審判員審判証の確認(スマホ対応可)、指導者ライセンス証、(スマホ対応可)、競技規定の確認、ユニフォームの決定(正・副ユニフォームを持参すること)、控え選手の着用するビブスの色(着用予定のビブスを持参すること)、諸注意事項の説明等を行う。
- ③ 有資格審判員1名が帯同出来ない時、指導者ライセンス保持者が帯同出来ない時は出場資格がないものとする。代表者ミーティングに遅刻しそうなときには50分前までに必ず会場責任者に連絡を行う事。
- ④ ベンチに入る JFA 公認指導者 D 級コーチライセンス以上、または有資格審判員資格を有するチーム役員は JFA 公認指導者ライセンス証、審判資格証(写真添付された紙ベースの物)を各チームで準備した透明ケースに入れ、首から下げて、試合開始前整列時から試合終了時まで掲示すること。掲示できない場合ベンチ入りは認めない
 - ・上記のベンチ入り要件を満たせなかったチーム役員に対して(公財)茨城県サッカー協会第4種委員会内規律・フェアプレー部で協議後ペナルティを与える。ベンチ入りが認められないのは該当する試合のみとし該当する試合以降は JFA 公認指導者ライセンス証
 - ・審判証を首から下げて掲示すればベンチ入りは認められる。
 - ・チーム役員のベンチ入り人数が2名に満たない場合は電子ライセンス証または他の方法で掲示することでベンチ入りを認めるが、ベンチより戦術的支持、指導、アドバイスをすることはできない。
 - ・役員のベンチ入り人数が2名以上いる場合はベンチ入りを認めない
- ⑤ 審判員は試合開始整列時にベンチ入りの役員の JFA 公認指導者ライセンス証を確認する。

- ⑥ 主催者側は大会中の事故、けが等について一切の責任は負いません。
- ⑦ 会場での撮影については盗撮防止等の観点から HP 上に掲載されている誓約書を試合会場に提出した人のみ許可します。各チーム2名までとします。
- ⑧ 県大会の日程についてはチーム事情にて変更は認めません。
- ⑨ 本大会の優勝チーム・選手は下記大会への出場権を得られる。
ただし、下に明記される出場資格を得られる事ができない場合は、準優勝したチームを繰り上げて出場とする。
* 出場の条件としてチーム役員に C 級以上の指導者が常にベンチ入りできること。
登録選手が 10 人以上であること
本県大会にて登録選手数が 20 人に満たない場合は、加盟チーム内選手から 20 名を上限に補充することができます。

JFA 第 49 回全日本 U-12 サッカー選手権大会全国大会

期日：2025 年 12 月 26 日～12 月 29 日（開会式は 12 月 25 日）

会場：鹿児島県鹿児島市

鹿児島ふれあいスポーツランド・白波スタジアム他

【実施要項の改廃】

本実施要項は、（公財）茨城県サッカー協会 4 種委員会において改廃できる

【施行・改定日】

2025 年 6 月 24 日施行

2025 年 7 月 24 日改定

2025 年 9 月 17 日改定

問合せ先：（公財）茨城県サッカー協会第 4 種委員会

事務局 岩本 敏治

携帯：090-8852-4020

Email：toshiiwamoto14@gmail.com